

じゅうぶん こんどうえごうろ  
重文 金銅柄香炉を

かんさつ  
観察してみよう

へいあんじだい せいぎ  
重文 金銅柄香炉 平安時代 12世紀

てら ぎしき もち ば きよ つか  
お寺の儀式でお香を用いてその場を清めるために使われました。

て も つか なが も て っ  
手に持って使うために、長い持ち手が付いています。

Q1

なに  
何でできているだろう？

1. プラスチック
2. 金属  
きんぞく
3. ガラス

Q2

も て まる かこ  
持ち手はどこだろう？丸で囲ってみよう



おも とくちょう  
重しが特徴！

おも まめ ち しき  
重し豆知識



重文 獅子鎖柄香炉 東京国立博物館

かたち しし かたち  
こんな形もあるよ。獅子の形！

しょうめん み かん  
正面から見たらこんな感じ